



## 2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年7月30日

上場会社名 トランコム株式会社  
 コード番号 9058 URL <https://www.trancom.co.jp/ir/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務・法務担当  
 四半期報告書提出予定日 2018年8月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

上場取引所 東 名

(氏名) 恒川 穰  
 (氏名) 川村 晋一 TEL (052) 939-2011  
 配当支払開始予定日 -

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	36,881	7.2	1,498	22.0	1,494	23.7	968	59.0
2018年3月期第1四半期	34,392	8.6	1,227	△8.3	1,207	△7.0	608	△58.0

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 885百万円 (55.8%) 2018年3月期第1四半期 568百万円 (△58.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	99.66	99.40
2018年3月期第1四半期	62.72	62.55

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	48,405	30,832	63.4	3,158.25
2018年3月期	48,077	30,349	62.8	3,110.99

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 30,680百万円 2018年3月期 30,211百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	-	40.00	-	42.00	82.00
2019年3月期	-	-	-	-	-
2019年3月期（予想）	-	44.00	-	44.00	88.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	72,950	5.1	3,010	19.4	2,970	19.0	1,960	30.7	201.83
通期	150,240	6.0	7,070	18.9	6,980	18.1	4,610	27.3	474.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	10,324,150株	2018年3月期	10,324,150株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	609,825株	2018年3月期	612,982株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	9,714,121株	2018年3月期1Q	9,709,961株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 自己株式に関する情報

当社は、従業員株式所有制度に基づく「株式給付信託（J-E S O P）」及び取締役等に対する株式報酬制度として「株式給付信託（B B T）」が所有する当社株式を四半期連結財務諸表において自己株式として計上しております。したがって、1株当たり四半期純利益又は潜在株式調整後1株当たり四半期純利益、及び1株当たり純資産を算定するための期末の普通株式及び普通株式の期中平均株式数について、「株式給付信託（J-E S O P）」及び「株式給付信託（B B T）」が所有する当社株式を控除しております。なお、2018年6月30日現在において、「株式給付信託（J-E S O P）」及び「株式給付信託（B B T）」が所有する自己株式はそれぞれ34,200株及び19,410株であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

物流業界では、トラックドライバーの高齢化、慢性的な人手不足が深刻化しております。また、貨物の小口化に伴い配送効率が悪化するなど、事業環境は引続き厳しい状況が続いております。

一方で、ネット市場の拡大や単身世代の増加に伴い消費者のニーズがますます多種多様化し、物を運ぶ作業から新たな価値を提供するサービスへと変化してきております。

このような状況の中、当期におきましては、更なる事業拡大に向け営業力の強化を事業方針とし、お客様の真のニーズを的確に把握し、物流全体最適の視点での提案・実行を推進いたしました。また、先進的なICTの技術を事業に取り込み、各事業の高度化に向けた検討を進めてまいりました。

また、双方の有する経営資源、ビジネスモデル、ネットワーク等を相互に活用することで、新たな市場の創出や付加価値の高いサービスの提供、海外での事業展開といった、既存事業の領域を超えた独自性のある新しいポジションの構築を目指すことを目的として、株式会社丸和運輸機関との戦略的資本・業務提携を進めていく決議をいたしました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高36,881百万円（前年同期比 7.2%増）、営業利益1,498百万円（同 22.0%増）、経常利益1,494百万円（同 23.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益968百万円（同 59.0%増）となりました。

当社グループでは、事業内容を3つのセグメント及びその他に区分しております。セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ① ロジスティクスマネジメント事業

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	11,598	12,336	737	6.4
セグメント利益（営業利益）	676	713	36	5.4

売上高は、新規業務の稼働に加え、既存拠点の物量増加により、増収となりました。

営業利益は、新規業務の稼働に伴う初期費用の計上はありましたが、前期稼働業務及び既存拠点での収益性の改善により、増益となりました。

#### ② 物流情報サービス事業

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	19,149	20,556	1,407	7.3
セグメント利益（営業利益）	721	698	△23	△3.2

売上高は、チャーター部門・中ロット部門ともに成約台数の増加により、増収となりました。

営業利益は、売上高の増加に伴う利益の増加はありましたが、事業の高度化を進める上での既存システムの改修に伴う費用に加え人件費の増加により、減益となりました。

#### ③ インダストリアルサポート事業

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	2,093	1,887	△205	△9.8
セグメント利益（営業利益）	23	10	△13	△57.2

売上高は、国内派遣部門において新規顧客獲得による増収要因はありましたが、顧客の生産減少に伴う派遣人員の減少に加え、海外拠点の撤退等により、減収となりました。

営業利益は、国内派遣部門における売上高の減少に伴う利益の減少により、減益となりました。

④ その他

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	1,927	2,408	480	24.9
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	△150	89	239	—

売上高は、タイ王国での物流業務が寄与したことにより、増収となりました。

営業利益は、同じくタイ王国で前期稼働の立上げに苦戦しましたが、当期安定稼働したことにより、増益となりました。

(注) 上記の数値は、セグメント間取引の消去はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の前連結会計年度末との比較情報は次のとおりであります。

① 資産

流動資産は、現金及び預金が606百万円増加したことなどにより、659百万円増加し34,022百万円となりました。

固定資産は、減価償却などにより、有形固定資産が51百万円、無形固定資産が55百万円、繰延税金資産の減少などにより、投資その他の資産が223百万円、それぞれ減少したことにより、330百万円減少し14,383百万円となりました。これらにより資産合計は、328百万円増加し48,405百万円となりました。

② 負債

流動負債は、夏季賞与支払いに備えて未払費用が881百万円増加した一方、未払法人税等が673百万円、賞与引当金が374百万円、それぞれ減少したことなどにより、124百万円減少し15,046百万円となりました。

固定負債は、30百万円減少し2,527百万円となりました。これらにより負債合計は、154百万円減少し17,573百万円となりました。

③ 純資産

純資産は、利益剰余金が557百万円増加したことなどにより、483百万円増加し30,832百万円となり、自己資本比率は63.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年4月26日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,258	10,864
受取手形及び売掛金	22,235	22,255
商品	13	11
仕掛品	17	1
貯蔵品	18	21
前払費用	544	597
その他	275	271
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	33,363	34,022
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,676	7,726
減価償却累計額	△4,193	△4,256
建物及び構築物(純額)	3,483	3,470
機械装置及び運搬具	4,654	4,673
減価償却累計額	△3,517	△3,593
機械装置及び運搬具(純額)	1,136	1,080
土地	2,701	2,701
リース資産	2,280	2,312
減価償却累計額	△1,241	△1,290
リース資産(純額)	1,039	1,022
建設仮勘定	12	31
その他	1,014	1,052
減価償却累計額	△698	△721
その他(純額)	316	330
有形固定資産合計	8,688	8,637
無形固定資産		
のれん	482	458
ソフトウェア	1,658	1,635
ソフトウェア仮勘定	17	38
顧客関連資産	556	528
その他	169	169
無形固定資産合計	2,885	2,829
投資その他の資産		
投資有価証券	1,301	1,214
繰延税金資産	522	383
差入保証金	1,184	1,176
その他	153	159
貸倒引当金	△21	△18
投資その他の資産合計	3,139	2,915
固定資産合計	14,713	14,383
資産合計	48,077	48,405

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	10,326	10,328
リース債務	232	238
未払金	528	304
未払費用	1,587	2,469
未払法人税等	932	259
未払消費税等	469	628
賞与引当金	560	185
役員賞与引当金	26	7
その他	506	625
流動負債合計	15,170	15,046
固定負債		
リース債務	1,153	1,131
繰延税金負債	139	132
再評価に係る繰延税金負債	11	11
株式給付引当金	169	182
役員株式給付引当金	148	139
退職給付に係る負債	106	101
資産除去債務	452	459
その他	376	369
固定負債合計	2,557	2,527
負債合計	17,727	17,573
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080	1,080
資本剰余金	1,220	1,224
利益剰余金	28,765	29,323
自己株式	△1,053	△1,042
株主資本合計	30,012	30,585
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	188	126
土地再評価差額金	26	26
為替換算調整勘定	△24	△65
退職給付に係る調整累計額	8	7
その他の包括利益累計額合計	198	94
新株予約権	111	104
非支配株主持分	26	47
純資産合計	30,349	30,832
負債純資産合計	48,077	48,405

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	34,392	36,881
売上原価	32,519	34,751
売上総利益	1,873	2,130
販売費及び一般管理費	645	632
営業利益	1,227	1,498
営業外収益		
受取利息及び配当金	6	6
持分法による投資利益	—	2
保険配当金	3	5
その他	6	11
営業外収益合計	16	25
営業外費用		
支払利息	27	26
持分法による投資損失	2	—
その他	5	2
営業外費用合計	35	28
経常利益	1,207	1,494
特別利益		
固定資産売却益	3	—
特別利益合計	3	—
特別損失		
固定資産廃棄損	26	—
支払補償費	70	—
その他	0	—
特別損失合計	97	—
税金等調整前四半期純利益	1,113	1,494
法人税、住民税及び事業税	409	343
法人税等調整額	95	162
法人税等合計	505	506
四半期純利益	608	987
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	608	968
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	19
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19	△62
為替換算調整勘定	△60	△38
退職給付に係る調整額	△0	△1
その他の包括利益合計	△40	△102
四半期包括利益	568	885
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	573	863
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	21



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益及 び包括利 益計算書 計上額 (注) 3
	ロジステ イクスマ ネジメン ト事業	物流情報 サービス 事業	インダス トリアル サポート 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,598	19,127	1,955	32,681	1,711	34,392	—	34,392
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	22	137	159	216	376	△376	—
計	11,598	19,149	2,093	32,841	1,927	34,768	△376	34,392
セグメント利益 又は損失(△)	676	721	23	1,421	△150	1,271	△43	1,227

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外物流事業及び情報システム開発事業等により構成しております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△43百万円には、セグメント間取引消去1百万円、のれんの償却額△45百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益及 び包括利 益計算書 計上額 (注) 3
	ロジステ イクスマ ネジメン ト事業	物流情報 サービス 事業	インダス トリアル サポート 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	12,336	20,537	1,863	34,736	2,144	36,881	—	36,881
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	18	23	43	263	306	△306	—
計	12,336	20,556	1,887	34,780	2,408	37,188	△306	36,881
セグメント利益	713	698	10	1,421	89	1,510	△12	1,498

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外物流事業及び情報システム開発事業等により構成しております。

2. セグメント利益の調整額△12百万円には、セグメント間取引消去2百万円、のれんの償却額△15百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。